

そらこめ通信

No.64 2015年11月新米号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

10月7日(水)の午前中で稲刈りが全て終わり、後片付けなどを経て、一次乾燥が終わった粃をJAに出荷しました(JAへの出荷は全て粃の状態での出荷になります)。出荷に際しては、他の農家との調整があるため順番を待ちながらの出荷になり、なかなかこちらの思うようにはなりません。一般売りも行っている弊社としては、倉庫の中に積んであるJA出荷用の粃を一刻も早く倉庫から運び出し、倉庫内にスペースを作らないことには一般販売用の粃摺りが出来ません。そのため、出荷前の粃について一時的にJAに預かって頂いたりもしております。いずれJAに出荷する粃を、(少額ですが)お金を払ってJAに預ける・・・変な話ですが、時間をお金で買っていると思えばどうってことはない(笑)。そんなやり繰りも行いつつ何とか粃摺りが終わり、10月17日(土)からは一般販売用(玄米)の等級検査(農産物検査法に基づく検査)が始まりました。最初は「ゆめぴりか」、日を変えて「ななつぼし」、そのあと「おぼろづき」という具合に、検査員側の都合を確認しながらトラックで玄米を順次検査場に運び込んだ上で検査をして頂き、ようやく10月27日(火)に全ての品種(農水省による産地品種銘柄として扱われていないものも含む)の検査を終了しました。

結果は全ての品種において全量1等米。ウェブ上でも既にお知らせしていますが、一般販売については10月26日(月)から開始しております。先日、試食してみました。味や食感とともに、色つやなども申し分のない出来かと思えます。皆様におかれましては、この機会に新米を食べて頂き、ご感想などをお聞かせいただければありがたく存じます。



倒れた稲を起こす社長(10月6日)



同じ圃場でコンバインを操作する拓哉さん～JAに出荷する「きたくりん」です(10月6日)



脱穀機で「ゆきさやか」の採種(10月17日)



収穫した粃をトラックに移す(10月6日)



進む区画整理事業(10月16日)



脱穀機で「ゆきさやか」の採種(10月17日)



等級検査を待つ弊社のトラック(10月17日)



「ゆめぴりか」の等級検査(10月17日)～サンプルを抜き取るJA検査員と検査の様子



この日は「ななつぼし」(10月19日)



検査が終わり検印を押す係の人(左)と1等米の検印(中)(10月17日)・・・◎が検印です



この日は「ななつぼし」(10月19日)



きれいな「ななつぼし」の玄米(左)と1等米の検印(中)(10月19日)



「おぼろづき」の検査です(10月21日)



真剣な表情の検査員(10月21日)



等級検査が終わり検印を押す係員(中)と1等米の検印(右)(10月21日)



販売するお米の品種の中には品種登録が成されていて、農産物検査法に基づく検査(等級検査)を受けているにもかかわらず、農水省の産地品種銘柄として扱われていないことで、品種名を「その他品種」としか表示できないものがあります(産地、産年は表示)。DNAによる鑑定も可能な今日、その分野での改革も早く進むことを願っております。国の方にも、まだまだ、手を付けるべき課題が多いようです。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です